

広報四季美だより

令和3年6月4日発行【第116号】
森吉山ダムニュース
日本の原風景・もうびの里から

2021

6

発行者：国土交通省 東北地方整備局 能代河川国道事務所 森吉山ダム管理支所
秋田県北秋田市根森田字姫ヶ岱31 TEL: 0186-60-7231 FAX: 0186-60-7232
<http://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/kasen/moriyoshi/>



想いをつなぐ満開のヤマザクラ

四季美湖畔公園のヤマザクラが満開でした！このヤマザクラは2011年からボランティアの手によって毎年場所を増やしながら植樹されているものです。今年は5月5～15日を鑑賞期間としてPRしており、多くの方に訪れていただきました。年々育っていくヤマザクラの姿に元気をもらうことができました。



5月12日撮影



▲2012年（9年前）の植樹の様子。左写真と同じ位置のヤマザクラです。大きくなりましたね！



流木の中からカブトムシの幼虫発見！



5月14日撮影

森吉山ダムでは大雨・洪水になると倒木等が流れ着き、その都度回収をしています。例年秋には薪や流木アートの材料として利用していただくため、無料配布を行っていますが、残った流木の中にカブトムシの幼虫を発見しました。今後、注意深く様子を見守り、カブトムシが成虫になった頃には、配布ができたら良いなと思っています。

※立ち入り禁止区域内のため、一般の方が採集することはできませんのでご注意ください。

広報館入口でセルフチェック

検温と手指の消毒に
ご協力をお願いします



広報館では、新型コロナウイルス等の感染拡大防止と、皆さんに安心してご利用いただきため、広報館の出入口に非接触型の「体温測定器」を設置しました。入館の際にご活用ください。

▲発熱等の症状が見られる方は、ご自身の体調回復を最優先にお考えいただき、入館をお控えいただくなど、人との接触回避に努めていただきますようお願いします。

森吉山ダムで働く女性職員がお届けする

女性目線の山ダム情報



手のひらサイズで、後羽には毛がフサフサ



「エレキングに似てない？」（H係長 談）

支所テラスで2種類の蛾を見つけました。青白い羽が美しいオオミズアオと白黒のヒトスジモンヒトリです。かなり近づいて撮影したので、こちらに飛んでこないかとひやひやしました。名前を調べていたら、『成虫は口が退化していることもあり、物を食べたり飲んだりすることはない（オオミズアオ）』とありました。これからは蛾を見ても、むやみに怖れたり嫌ったりせず、優しい目で見守ろうと心に誓いました。

この広報誌では、“東北一”長いロックフィルダム！森吉山ダムの旬な話題、森吉四季美湖周辺の豊かな自然や、縄文時代から続く風土などを皆様にご紹介しております。四季折々、のどかで清らかな絶景をご覧頂けます。ぜひ、ダムに足を運んでみて下さい！

Copyright 能代河川国道事務所 森吉山ダム管理支所 All rights reserved.